



図書館 だより

図書館 ☎69・3706

今月の特集 「アート大好き」

今月は、芸術の秋を盛り上げる!? 美術に関する本をご紹介します。



『画家の手もとに迫る原寸美術館』

結城昌子 / 著 小学館
ダ・ヴィンチ、フェルメール、ルノワールなど、西洋名画を原寸大にて巨匠たちの手元に迫る一冊。



『女の子のための現代アート入門 MOT コレクションを中心に』

長谷川祐子 / 著 淡交社
1950年代から2010年までの作品より約60点をテーマ別に紹介。新しいスタイルの入門書。



『駄美術ギャラリー』

現代美術二等兵 / 著 マガジンハウス
「楽しい」、「おもしろい」作品制作を目指すアートユニットの作品集。美術を気楽に手にできる本。

分類特集は 「52」： 建築学

5

家づくりに
関する本!



『家族でつくる「間取り」の教科書』

小池康寿 / 著 技術評論社
業者に依頼せず、自分たちの手で家族が幸せになれる間取りの作り方を紹介する。



『古民家遊々』

講談社 / 編 講談社
建築家のアイデア、職人のワザと知恵が詰まった再生古民家の実例集。古民家の食事処&お宿なども収録。



『日本の城』

中井 均 / 著 新星出版社
日本全土に建造された城や城郭の中から、安土城や大阪城など、約90の名城をピックアップして紹介する。

新築やリフォームに役立つ本が揃っています。建物の本もあります。



水族館



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68・2059

「その後のオタリア」

■毎日が大騒ぎ

この原稿を書いている現在、新しいスターの「オタリア」が竹島水族館にやってきて1カ月が経ちました。

来館した当初から気が強く、生後1年半の小さな体ながら、野生をむき出して我々を威嚇し、隙を見てかみ付こうとするので、困っています。正直、困るところか毎日恐怖でおびえる日々です。朝、出勤すると部屋の中が汚れている

のでホースとデッキブラシを持って檻の中に入り掃除をするのですが、これが怖くてたまらない。南米生まれの猛獣と部屋の中に二人っきり。隙を見せると口を開けてかみ付いてくるので、毎回コラッ!と大きな声で制止して部屋の中を掃除するだけで毎朝大騒ぎです。背中を見せることはできず、向き合ってお互い一定の距離を保ってけん制しつつ掃除をします。

■覚悟の接近

しかし、いつまでもこんな状態ではトレーニングは進まず、

ショーにできることはできません。早い段階のどこかで踏ん切りをつけて接近し、心の距離を縮めてお互い分かり合い仲良くならなければいけません。しかし、かまれるのはイヤだ。毎日おびえて、決心が付かずじやないたのですが、まあかまれても鋭い牙で体に少し穴が開く程度だ、鼻でも尻でもどんな人間の体にも穴が開いているものだ、と強引に開き直って覚悟を決めて接近しました。

■やっぱりかまれた!

エサを持ってオタリアへ接近すると、案外おとなしく、拍子抜けしました。しかし、そう思ったのがいけなかったのです。油断してしまったのです。気を緩めた瞬間、ものすごい速さで足にガブリ!と

かみ付いてきたのです。さすが野生の獣、隙を見逃さず瞬間的にかみ付き、やられた!と思った時にはすでに私からは距離をとっていたのです。

かまれると、その痛みよりも「かまれた」というそのもののショックのほうが大きく、さらに次に関わるのがものすごく怖くなります。(また次もかまれるのではないか)という恐怖に襲われるのです。しかし、飼育員として職業。そこは厳しいビジネスマン。やらねばならないのです。恐怖心をむりやり捨て去って再び挑むのです。そんなふうに毎日、小さきまな壁を越えて少しずつ距離を縮めていきます。楽しいショーができるのはまだずいぶん先になりそうです。